

8 . タウンウォッチング

8 - 1 タウンウォッチングの概要

(1) 調査目的

高齢者・身体障害者の方々を中心に、各施設管理者の関係者も含め重点整備対象地区を歩行し点検調査することにより、旅客施設間の移動について現況の問題点や課題を抽出し、この実態調査の結果を「交通バリアフリー基本構想」に反映させることを目的として、タウンウォッチングを実施した。

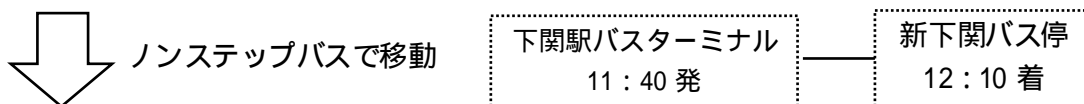
(2) 調査日時

平成 16 年 7 月 13 日 (火) 9 : 30 ~ 16 : 00 [天候 : 晴れ]

(3) 調査コースおよびスケジュール

【下関駅周辺地区 点検コース】(p 59 下関駅周辺地区点検コース図参照)

(9 : 30 中央公民館前 (集合場所) 海峽メッセ前 人工地盤 JR 下関駅構内 下関リハビリテーション病院前 山口銀行今浦支店前 グリーンモール 下関駅バスターミナル 11 : 35)



新下関駅到着後、昼食休憩

【新下関駅周辺地区 点検コース】(p 60 新下関駅周辺地区点検コース図参照)

(13 : 00 JR 新下関駅構内 スーパーとみやま前 勝山老人憩の家前 山口銀行新下関駅前支店前 勝山郵便局前 駅前広場 新下関駅 14 : 30)



中央公民館 (文化会館) にて意見聴取 15 : 15 ~ 16 : 00

(4) 参加者

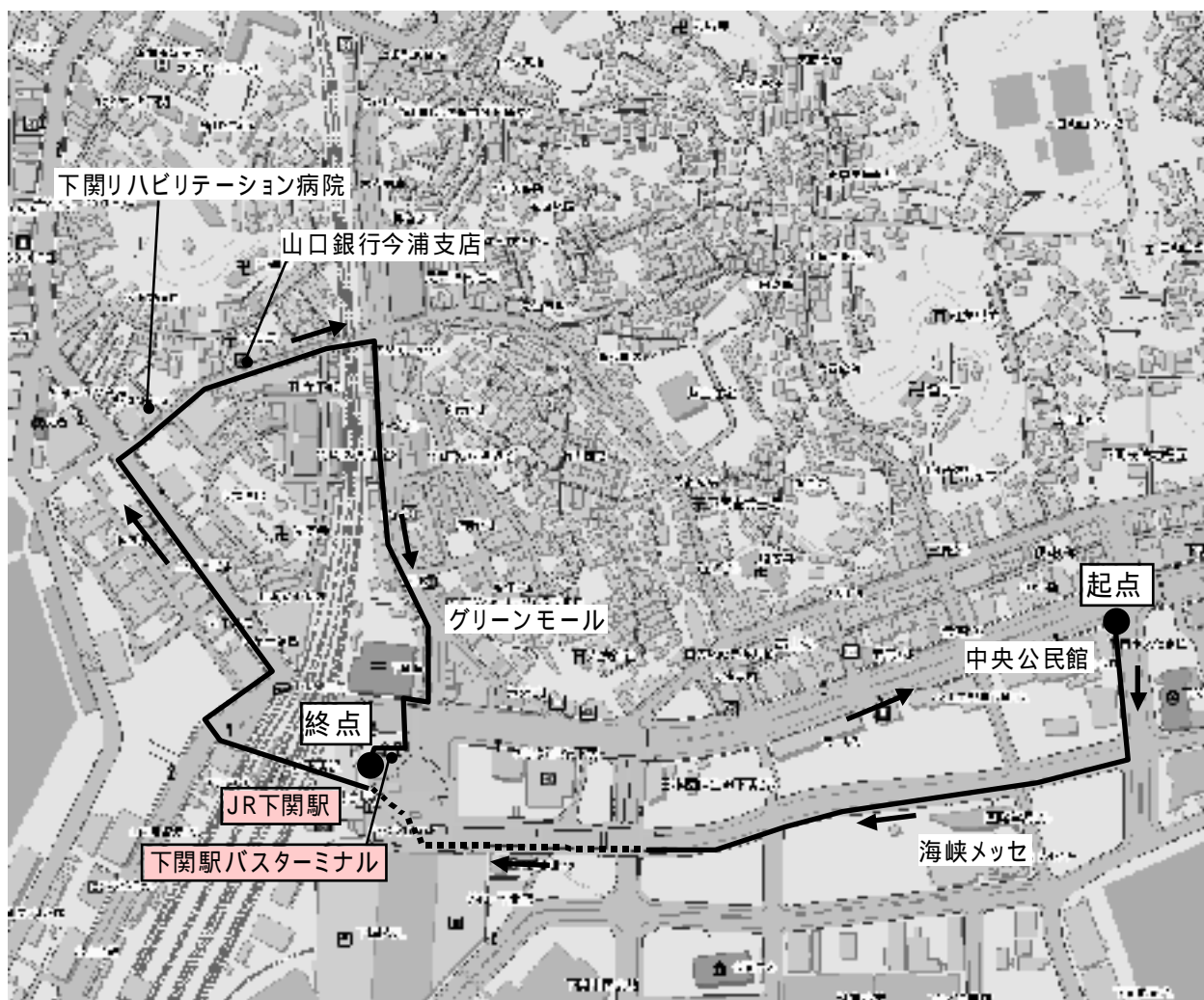
身体障害者	車椅子使用者 1 名・介護人 1 名 視覚障害者 1 名・ヘルパー 1 名 聴覚障害者 1 名・手話通訳者 2 名
道路管理者	国道管理者 (下関国道維持出張所) 1 名 県道管理者 (下関土木建築事務所) 1 名 市道管理者 (下関市道路管理課) 1 名
公共交通事業者	鉄道事業者西日本旅客鉄道 (株) 3 名 バス事業者 (サンデン交通 (株)) 1 名
公安委員会	下関警察署 1 名
その他	市民代表 1 名 事務局 (下関市都市計画課) 等 7 名

計 23 人

(5) 調査方法

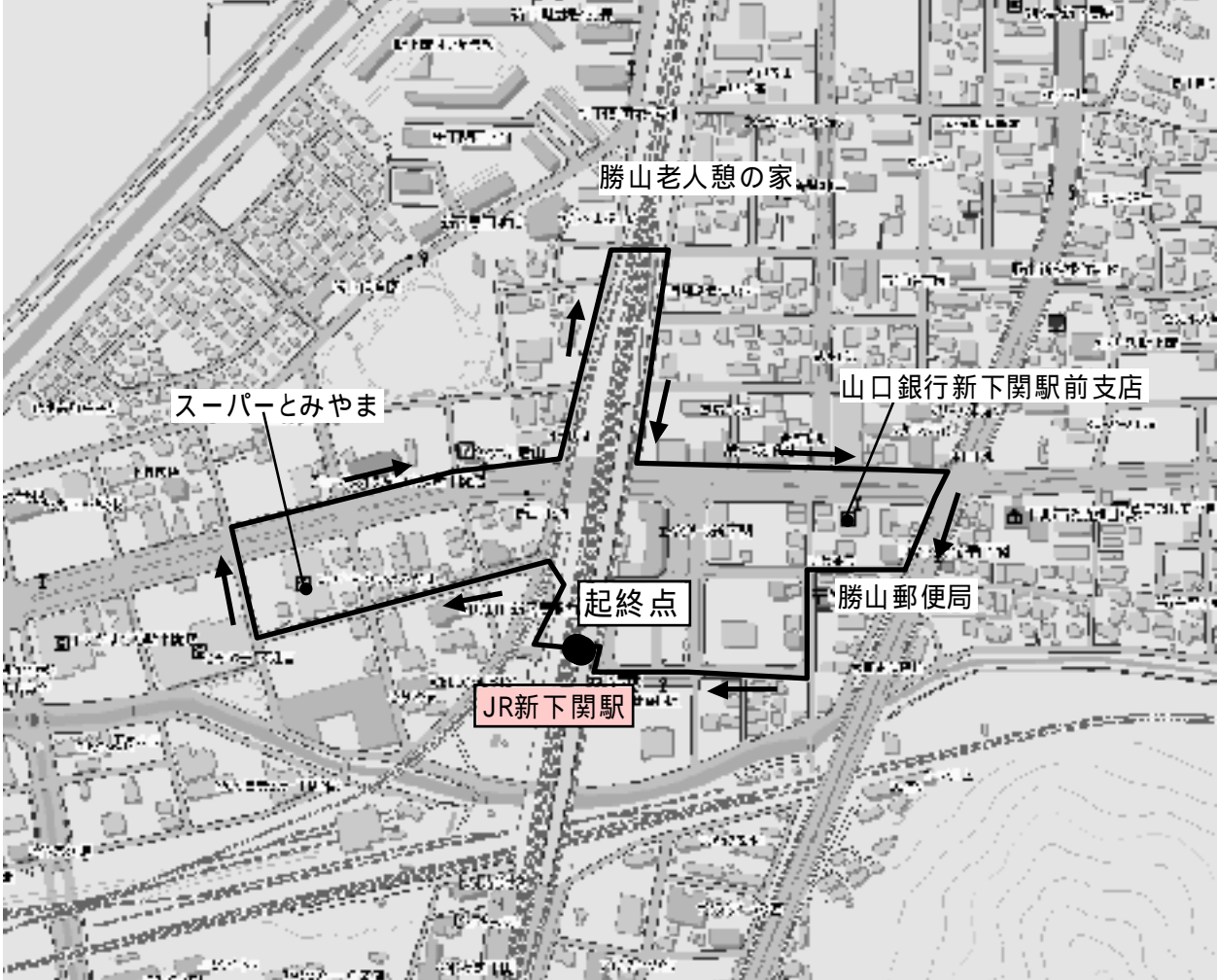
参加者とともにコース上を移動しながら、配布したチェックシートに問題箇所とその要因、その他意見等を記入してもらった。終了後、中央公民館にて参加者から意見聴取を行った。

下関駅周辺地区点検コース



中央公民館前（集合場所） 海峽メッセ前 人工地盤 JR 下関駅構内
下関リハビリテーション病院前 山口銀行今浦支店前 グリーンモール
下関駅バスターミナル

新下関駅周辺地区点検コース



JR 新下関駅構内 スーパーとみやま前 勝山老人憩の家前
山口銀行新下関駅前支店前 勝山郵便局前 駅前広場 新下関駅

8 - 2 タウンウォッチングの結果・整理

タウンウォッチングの参加者から収集したチェックシート（問題箇所）及び意見等を以下に整理しました。

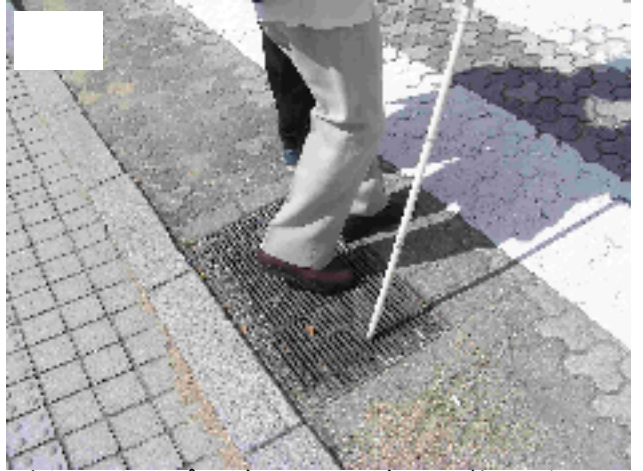
（１）歩行空間

側溝蓋（グレーチング）や道路工事、歩道内の障害物に関する問題点が多く指摘されました。歩道の幅や段差に関する問題点はあまり挙げられなかったが、高齢者や車いす使用者が勾配のある歩道（道路）を通る時には、つまずきや、よろけたりしてつらそうな場面が見受けられました。

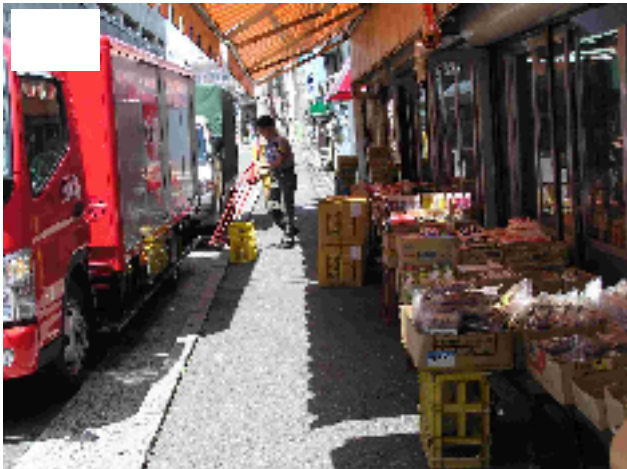
対象施設	項目	問題点・指摘内容	指摘者
下関駅 周辺	側溝の蓋 グレーチング	グレーチングの溝に車椅子のタイヤや杖がはまり危険。杖を利用される方の転倒防止のためにも、グレーチングの形状を工夫して欲しい。 高齢者や身障者が日常生活でよく利用するような道路だけでもグレーチングを改善した方がよい。〔写真 〕	車椅子使用者、視覚障害者、道路管理者、公共交通事業者、公安委員会、市民代表
	工事	工事のあとの凹凸が多い。 工事中の仮設歩道が危険である。今後、工事の迂回等にも配慮が必要なのではないか。 工事中に歩道に設置されている鉄板は雨の日に滑りやすく危険。	車椅子使用者、視覚障害者、道路管理者、公共交通事業者、市民代表
	商品陳列	グリーンモールの歩道に商店の品物が出ており移動が困難。〔写真 〕	車椅子使用者、視覚障害者
	放置自転車 等	駅西口周辺の歩道内に放置自転車がある。 歩道上の放置自転車や駐車で、障害者以外の方にも通行不能の箇所が多数見受けられた。 （動線を妨げられている）〔写真 〕	車椅子使用者、道路管理者、公共交通事業者
	車止め	海峡メッセ周辺の歩道内にある車止めは設置間隔が狭い。（65cm程度）〔写真 〕	道路管理者、公安委員会
	勾配	マルハビル前の地下道側の歩道が急である。 海峡メッセ前、デオデオ前の歩道の勾配が急。 歩道については、車道部への勾配が急に感じた。 国道191号起点の歩道に傾斜あり。	車椅子使用者、道路管理者、公共交通事業者
	その他	今浦町の下関リハビリテーション病院前の歩道は凹凸があって、車いすが傾いていた。 今浦町は歩道に段差が多い。 人工地盤の舗装老朽化。 歩道の真中に電柱がある。	聴覚障害者 道路管理者
新下関駅 周辺	歩道の有無	駅の周りに歩道がないので危険。〔写真 〕 歩道のある所、ない所があった。	車椅子使用者、公安委員会
	段差、勾配	県道新下関停車場稗田線沿いのリサイクルショップ前に段差あり。 県道新下関停車場稗田線は段差箇所あり。マウントアップの歩道で勾配のある部分が多い。	車椅子使用者、道路管理者



目の粗いグレーチングは視覚障害者の白杖や車椅子のタイヤがはまってしまふ



新しいタイプのグレーチングは目が細かく、通行の妨げにはならない



グリーンモールの歩道に商店の品物が突き出しているため、通行が困難



下関駅西口周辺の歩道上の放置自転車によって広い歩道が狭まっている



車止めの間隔が狭く、車椅子がギリギリ通れる程度



新下関駅周辺の道路には歩道があまりなく、車、歩行者、自転車がそれぞれ自由に通行しており危険

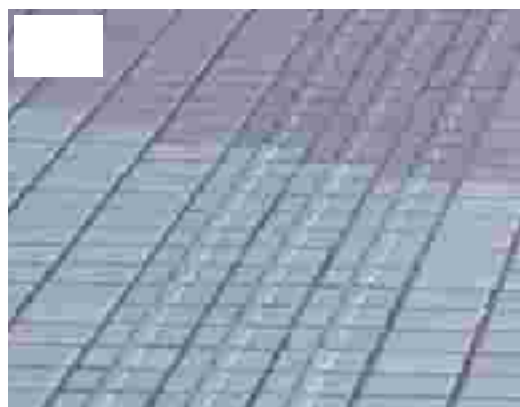
(2) 視覚障害者誘導用ブロック

視覚障害者誘導用ブロックは、下関駅周辺は多くの歩道に設置されているが色や設置位置に関する問題点が指摘されました。新下関駅周辺については、歩道が整備されている道路が少なく、歩道があっても視覚障害者誘導用ブロックはほとんど設置されていない状況です。歩道整備、視覚障害者誘導用ブロックの設置が課題とされます。

対象施設	項目	問題点・指摘内容	指摘者
JR 下関駅	位置	視覚障害者誘導用ブロックがあっても、ないと思っている視覚障害者もけっこういる。 視覚障害者誘導用ブロックが構内の中心部に設置してあるが、混雑時には一般乗降客が大勢通り、視覚弱者には通れない。もっと人通りの少ないところに移設すべき。券売機から改札口までの方向部に視覚障害者誘導用ブロックがほしい。〔写真 〕	視覚障害者、 道路管理者
下関駅 周辺	色	海峡メッセ前の視覚障害者誘導用ブロックは、歩道舗装と同色のものが設置されており、認識しにくい。 できれば、黄色で統一してほしい。視覚障害者誘導用ブロックの色が目立たないと、その上に自転車を置かれたりするケースがある。〔写真 〕	視覚障害者、 道路管理者、 公共交通事業者
	位置	狭い間隔の車止めのセンターに点字ブロックがある。	道路管理者
新下関駅 周辺	視覚障害者 誘導用ブ ロックの有無	視覚障害者誘導用ブロックがない。	道路管理者



構内の中央に視覚障害者誘導用ブロックが設置、色は黄色で目立っている

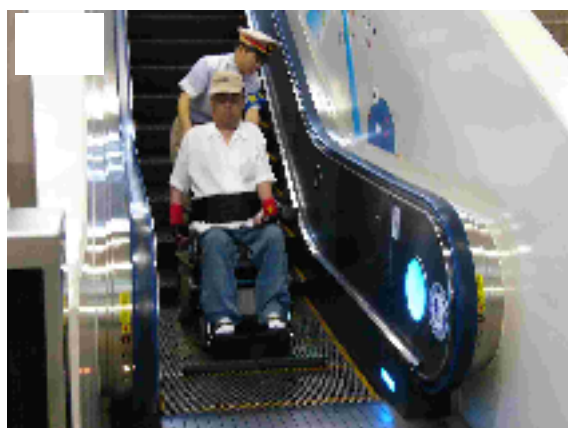


海峡メッセ前の歩道では、視覚障害者誘導用ブロックの色が歩道舗装と同じで区別しにくい

(3) 垂直移動施設

下関駅周辺では、人工地盤の垂直移動施設としてエレベーター、エスカレーターが設置されており、下関駅のエスカレーターは駅員付き添いのもと車椅子利用者も利用できるため、対応は整っていました。ただし、エスカレーターのスピードの検討や、日常生活で駅を利用する際にどれだけ早く十分な対応をしてもらえるのか等、ソフト面での課題が考えられます。また、JR 新下関駅には、在来線へのエレベーター、エスカレーターの設置が課題とされます。

対象施設	項目	問題点・指摘内容	指摘者
JR 下関駅	エスカレーターのスピード	車いす使用者のためにエスカレーターのスピードを下げ、その後通常のスピードに戻した時、とても速く感じた。	公共交通事業者、公安委員会
	その他	駅員さんがついているのでエスカレーターは特に問題なし。〔写真 〕	車椅子利用者
		階段は手すりがあるため安心して利用できる。一方、エスカレーターは乗る時にタイミングがあえばいいが、少し怖い。	視覚障害者
JR 新下関駅	EV・ESの有無	在来線ではエスカレーターが設置されておらず、利用が不便（車いすを持ち上げるのに最低5人必要） 在来線にエレベーター・エスカレーターをつけて欲しい。	車椅子利用者、道路管理者、公安委員会
下関駅周辺	その他	人工地盤に設置されたエレベーターのボタン位置が使いづらい。ただし、前後に扉があり、エレベーターに入った向きで出ることができるため便利。〔写真 〕	車椅子利用者



下関駅のエスカレーターは、車椅子利用者には駅員が付き添って利用

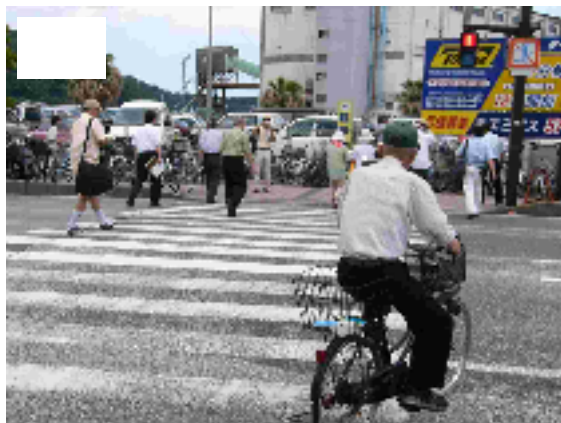


下関駅周辺の人工地盤のエレベーターは車椅子を転回させる必要がなく、移動に便利

(4) 信号機

主に、歩行者信号の青時間に関する意見が挙げられました。信号機は設置されていても、音声のある信号機はまだ少なく、視覚障害者にとっては、道路の横断が危険で不安なものであることが分かりました。

対象施設	項目	問題点・指摘内容	指摘者
下関駅 周辺	有無	音声信号機を設置してほしい。新下関駅周辺も同様。	視覚障害者
		信号機あり。付加機能あり(視覚障害者用信号付加装置)	公安委員会
	音量	歩行者信号の青時の音声が聞こえなかった。	道路管理者
	青時間の長さ	歩行者信号の青時間は普通。	公安委員会
歩行者信号の青時間が短く(20秒程度)、電動車いすの方はいいが、高齢者や障害者は横断歩道を渡りきれない。お年寄りの方で、大体歩幅30~40cmであるが、きちんと歩幅を把握して青時間の長さを検討する必要がある。新下関駅周辺も同様。		市民代表	
新下関駅 周辺	青時間の長さ	歩行者用信号機で青時間の短い所もある。(下関警察署前、下関駅西口前〔写真〕)	視覚障害者、公共交通事業者
		信号機あり。付加機能がない信号もあった。 歩行者信号の青時間が短い。	公安委員会 道路管理者
その他	青時間の長さ	歩行者信号機の白い押しボタンを押すと、通常の1.5倍程度青時間が長くなる「弱者感応式信号機」というものがあるので、要望に応じて、この装置の設置を検討していきたい。	公安委員会



歩行者信号の青時間が短く、時間内に横断歩道を渡りきれないことがしばしばあった

(5) その他

その他の意見として、案内表示の明確化・拡大化やバス停に関すること等が挙げられました。

対象施設	問題点・指摘内容	指摘者
JR 下関駅	時刻表、料金表、路線図、券売機は特に問題なし。	車椅子使用者
	聴覚障害者への対応として電光掲示板等の案内表示を増やして欲しい。事故の時の緊急案内に関しては、はり紙でもよいので、「係員にお尋ね下さい」といった文字案内をしてほしい。	聴覚障害者
	JR下関駅については基本的に整備は済んでいるが、今後は、利用者ニーズに応じたより一層のバリアフリー化に努めていきたい。	公共交通事業者
JR 新下関駅	JR 下関駅同様、文字案内を増やしてほしい。 新幹線ホームに柵があるとよい。	聴覚障害者
	在来線、新幹線が連結されていないので、使いづらい。 券売機は見やすい。	車椅子使用者
下関駅バスターミナル	ノンステップバスは非常によかったが、時刻表に車椅子の乗車可能なバス運行時間を示してもらいたい。(バス停も同様) また、ノンステップバスの運行路線や便数を増やして欲しい。	車椅子使用者
新下関駅バス停	バスが到着した時、前のバスが停車していたため、歩道に平行につけることができず、切り返さないと1度でスロープ板を出せなかった。 バス停に違法駐車が一台でもあると停車できないことがよくある。違法駐車が障害になるという市民の意識も大事だと思う。	公共交通事業者
下関駅周辺	地下道の手すりがよごれているので、手すりを使って歩きにくい。音が響くため、音声案内が聞き取りにくい。音声案内の感応(白杖に貼ったシールへの感応)が前より遅かった。	視覚障害者
	身障者は歩行に大変気を使っており、体力の消耗が激しいため、木影つきのベンチ等の休憩施設が必要と思われた。	道路管理者
バス車両	料金表の文字がみにくい。もう少し大きくして、赤文字ではなく白文字にしてほしい。	聴覚障害者
	サンデン交通(株)のノンステップバスはまだ現在 14 両で全体の 6%程度。下関市の協力をいただきながら、毎年少しずつでも増やしていきたい。下関～新下関(急行便)は観光路線であるため、停車を増やすよりは、台数を増やして色々な路線ができるようになればと思っている。	公共交通事業者
その他	バス停がもっと多ければ利用する人も多いのではないか。	車椅子使用者
	海峡メッセ前の海峡線バス運行の右回り、左回りの表示がほしい。 案内標識や看板の文字をもっと大きくしてほしい。	聴覚障害者
	自転車が歩道をスピードを出して走ってくるので、危ない。 ハード面というよりも、ソフト面の個人の意識を変える必要があるように思う。	公共交通事業者
	駅周辺地区というのは、様々な障害のある方が利用するため、車いす利用者の転倒等、突然の事故に緊急対応できる連絡先をつけた方がいいと思う。	市民代表